



岡山天文博物館開館記念イベントを開催！

当館は、昭和35(1960)年11月1日に開館しました。61回目の開館記念日にあわせて、今年は11月の週末に分散させてさまざまなイベントを開催しました。

11月6日(土)・7日(日)は、開館記念イベント第1弾として、工作「お星さまおまもりを作ろう！」を開催しました(写真①)。

オリジナルの星型のお守りを、親子で楽しみながら手作りました。お守りのなかには、それぞれ願い事を入れて、完成後に、博物館入口の階段近くにあるモニュメントの“星あわせ(星・幸せの意味)の鐘”を鳴らして、叶うようにお願いしました。

11月13日(土)・14日(日)は、第2弾として、「国立天文台見学ツアー」&「博物館からの挑戦状(クイズラリー)」を開催しました(写真②)。

見学ツアーでは、65 cmクーデ型太陽望遠鏡や50 cm反射望遠鏡、91 cm反射望遠鏡など、普段は入ることができない国立天文台の望遠鏡群が立ち並ぶなかをスタッフが解説しながらめぐりました。ツアーの最後には、普段はガラス越しにしか見ることができない国立天文台188 cm反射望遠鏡をドームの中から見学しました。

また、博物館内や敷地内の代表的な望遠鏡に設置されたクイズに、スマートフォンを使って挑戦するクイズラリーも開催しました。難問のクイズもあったようですが、たくさんの方が挑戦し、全問正解者にはステキなプレゼントをお贈りしました。



写真① 開館記念イベント(第1弾) 工作の様子



写真② 開館記念イベント(第2弾) 見学ツアーの様子



写真③ 開館記念イベント(第3弾) 特別講演会の様子

11月21日(日)には、第3弾として、特別講演会「“電池の素”は宇宙の爆発で作られた！ーすばる望遠鏡の観測最前線ー」を、188 cm反射望遠鏡ドーム内で開催しました(写真③)。

講師の田實晃人さん(国立天文台ハワイ観測所岡山分室特任准教授)が、ハワイにある「すばる望遠鏡」の観測から、スマートフォンなどに使われている電池の材料である元素“リチウム”が、宇宙の爆発(新星爆発)でつくられていることを突き止めた研究成果について解説しました。講演後には、熱心な参加者からたくさんの質問もありました。